

主催 三国町まちづくり協議会

一みに、雄島、加戸・公園台、新保、浜四郷、三国木部、三国東部まちづくり協議会一

被災者から学ぶ新しい地域防災

～明日の私と大切な人を守るために～

7月18日(土) 10:00~12:30

ところ：みに未来ホール (三国町中央1-5-1 三国支所併設)

参加は無料
どなたでも
ご参加できます

講演会では、三上さんと志野さんが地震や津波の災害の実態を伝えます。三上さんは「継続」と「対話」の難しさを熟知しており、どうすれば「自分や大切な人」を守り続けられるかなど、貴重な情報が提供されます。

志野さんは、被災した体験を基に、特別な備え以上に「家族との何気ない会話やルール」こそが、いざという時の希望になることを教えてくれます。防災を「特別なイベント」から「毎日の暮らしを守る大切な習慣」へとする重要性を訴えます。

後半は三上さん、志野さん、竹田教授が女性の視点を軸にパネルディスカッション。事例紹介

パネラー

三上豊子さん (石川県珠洲市復旧・復興本部 健康サポート推進室長) 令和6年1月の能登半島地震で被災しながらも、珠洲市の90カ所以上の避難所で地域での様々な支援に奔走した。

志野ほのかさん (宮城県石巻市・会社員) 東日本大震災で家族を失うなど悲惨な体験から災害の実態や心構えを伝える語り部として活躍している。(オンラインで登壇の予定)

司会進行

竹田周平氏 (福井工業大学教授・地域防災を研究) みに地区まち協防災安心部会顧問。防災ミ二教室の講師をしている。

竹田教授からのメッセージ

重たい非常袋、避難訓練が必要と感じながら、災害は自分から遠いような感覚となる方も多いと思います。もしそう感じているなら、ぜひ足を運んでください。災害が多い日本で、家族や自分の命を守るための「あたらしい防災」のヒントがあるはず。女性の視点を軸に「自分や大切な人をどう守るか」の問いに向き合います。被災現場から生まれた勇気、経験から紡がれる対話、そして地区の新しい連携。「ここから始まるわたしの防災」を一緒に考えましょう。

女性の視点を軸に考えよう



被害を受けた珠洲市 (2025 撮影)

介しながら、「女性のニーズ」を取り入れた防災を考えます。避難所の衛生環境や福祉的な配慮など、女性の視点を入れることで、地域の防災力は劇的に向上します。地域と行政が連携し、誰もが心地よく過ごせる場所をどう創っていくか、さまざまな事例を紐解きながら「防災」の常識をアップデートします。防災は「やらされるもの」でなく「自分たちがつくるもの」です。今日から始められる備えと、地域との繋がり方を考えるきっかけになるはずです。

※パネラーの人数などに変更がある場合があります。

★お申込み・お問合せ

みに地区まちづくり協議会(三国コミュニティセンター内)

TEL 82-6400

お電話受付：月～金 9:00～17:00

E-mail：mikuni-k@mx3.fctv.ne.jp

※右記の専用フォームからのお申込みもできます。

※最寄りのコミュニティセンターでもお申込みできます。



申込締切：7月15日(水)



★申込み専用フォーム